

## 令和6年度（2024年度）事業計画

### 1 活動方針

- 研究・研修事業の内容の工夫や改善、充実に努める。
- 加盟機関相互、諸関係機関・団体及び全教連事務局との連携・協力の強化を図る。
- 加盟機関の活動状況の紹介及び研究成果等の普及を積極的に行う。

### 2 事業計画

#### (1) 学習会等

##### ア 所長研修会

- ・期日：令和6年（2024年）4月24日（水）総会後に実施 ※80分程度
- ・形態：Web会議サービスによるオンライン開催
- ・内容：事業内容や実態の交流、今後に向けての取組 等

##### イ 夏季所員学習会

- ・期日：令和6年（2024年）7月30日（火）
- ・形態：Web会議サービスによるオンライン開催
- ・内容：北海道の課題や所員のニーズに対応した内容に関する講義・演習等

##### ウ 冬季所員学習会

- ・期日：令和6年（2024年）11月26日（火）
- ・形態：Web会議サービスによるオンライン開催
- ・内容：北海道の課題や所員のニーズに対応した内容に関する講義・演習等

##### エ 令和6年度（2024年度）第79回北海道教育研究所連盟研究発表大会（網走大会）兼第66回全国教育研究所連盟北海道地区研究発表大会

- ・期日：令和6年（2024年）8月29日（木）、8月30日（金）
- ・会場：オホーツク・文化交流センター  
（〒093-0072 北海道網走市北2条西3丁目3番地 TEL:0152-43-3704 FAX:0152-45-0733）
- ・内容：開会行事、全体発表、協議（全体）、講演、講義・協議（全体）、閉会行事  
※オンラインについては、視聴のみとする。  
※講義・協議（全体）については、独立行政法人教職員支援機構（NITS）による。

#### (2) 広報活動

- ア 加盟機関の研究内容や研修事業の取組をまとめた要覧をWebページに掲載
- イ 研究発表大会の資料等をWebページに掲載

#### (3) 共同研究【資料】

- ア 研究主題：「一人一人の子どもを主語にする学校教育の実現に向けて」（3年次計画の2年目）
- イ ねらい：各教育研究所・研修センターがより連携・協働できる体制を整備し、学校支援のために活用する、個別最適な学びと協働的な学びの実践事例の収集・提供をすることにより、子どもの主体的な学びを支援する伴走者としての能力の向上に資する。
- ウ 研究内容：○全ての子どもたちの可能性を引き出す「個別最適な学び」と「協働的な学び」  
○子どもの成長を支える連携・協働体制の構築
- エ 推進委員：石狩教育研修センター、空知教育センター、上川教育研修センター、宗谷教育研修センター、渡島教育研究所、胆振教育研究所、網走地方教育研修センター、根室教育研究所、札幌市教育センター、北海道教育大学へき地・小規模校教育研究センターから各1名、北海道立教育研究所から各2名 計12名
- オ 推進委員会：3回実施（①5月17日（金）、②10月10日（木）、③1月10日（金） ※予定）  
※第1回目は、集合とする。

### 3 諸会議

#### (1) 定期総会

- ・期日：令和6年（2024年）4月24日（水）
- ・形態：Web会議サービスによるオンライン開催
- ・内容：令和5年度（2023年度）事業及び会計報告、監査報告、令和6年度（2024年度）事業計画案及び予算案の承認等

#### (2) 委員会

- ・期日：令和7年（2025年）2月5日（水）
- ・形態：Web会議サービスによるオンライン開催
- ・内容：令和6年度（2024年度）事業及び会計決算、令和7年度（2025年度）事業計画案及び会計予算案等に係る審議

### 4 その他

- ・令和6・7年度「全教連課題研究」である「小中高等学校における教科横断的な探究やSTEAM教育の充実」に応募し、北海道立教育研究所が実施機関として内定
- ・北海道立教育研究所が研究を推進し、研究内容等を全教連研究発表大会で発表予定

北海道教育研究所連盟第18次共同研究（令和5年度～令和7年度）概要  
**一人一人の子どもを主語にする学校教育の実現に向けて**

## ねらい

各教育研究所・研修センターがより連携・協働できる体制を整備し、学校支援のために活用する、個別最適な学びと協働的な学びの実践事例の収集・提供をすることにより、子どもの主体的な学びを支援する伴走者としての能力の向上に資する。

研究内容 1 全ての子どもたちの可能性を引き出す 「個別最適な学び」と「協働的な学び」	研究内容 2 子どもの成長を支える 連携・協働体制の構築
(1) 実践事例の収集 ※「個別最適な学び」と「協働的な学び」の充実に係る実践事例等の収集 (2) 「実践事例バンク」の作成・運営 ※「個別最適な学び」と「協働的な学び」の充実に係る実践事例等についての相互交流の場とする。 (3) 各教育研究所・研修センター相互のつながりを深めるICTを活用した連携・協働体制の構築 (4) 「実践事例バンク」を普及するためのリーフレット作成・周知	(1) 各教育研究所・研修センターに蓄積された教育実践の共有 ア 専門性の高い研修の実践 イ 個々の学校のニーズに応じた研修支援 ウ 校種横断的な実践の推進に係る支援 ※これまで蓄積された教育実践を、クラウド等を活用して道研連加盟機関で共有する。 (2) 各教育研究所・研修センターの協働体制の構築 ア 複数の教育研究所・研修センターが連携した遠隔型研修の実施 イ 他の機関における公開研究授業等への参加
作成・収集する事例や研究内容に係る業務推進について	
(1) 「個別最適な学び」に関する授業実践例 ア 指導の個別化 子ども一人一人の特性・学習進度・学習到達度に応じた指導方法・教材等の工夫 イ 学習の個性化 子ども一人一人の興味・関心・キャリア形成の方向性に応じた学習活動や課題に取り組む機会の設定 (2) 「協働的な学び」に関する授業実践例 多様な他者と協働し、異なる考え方が組み合わせり、よりよい学びを生み出す学習活動や場面の設定	(1) 各教育研究所・研修センターに蓄積された教育実践の共有 ア 専門性の高い研修の実践 イ 個々の学校のニーズに応じた研修支援 ウ 校種横断的な実践の推進に係る支援 ※これまで蓄積された教育実践を、クラウド等を活用して道研連加盟機関で共有する。 (2) 各教育研究所・研修センターの協働体制の構築 ア 複数の教育研究所・研修センターが連携した遠隔型研修の実施 イ 他の機関における公開研究授業等への参加

## 第18次共同研究推進計画

	研究内容 1	研究内容 2		研究発表大会
令和5年度 <1年次>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「個別最適な学び」と「協働的な学び」の充実に目指した実践事例の収集</li> <li>○ 収集した実践事例の分析</li> <li>○ 「実践事例バンク」への掲載事例の収集・作成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 各教育研究所・研修センターに蓄積された効果的な教育実践の共有</li> <li>○ 共有する内容の精選及び共有する方法の検討</li> </ul>	<1年次～3年次> ○ 所員学習会における所員の力量向上 ○ Web上で提供する内容の共同研究推進委員会における情報共有 ○ 研究発表大会における研究発表及び協議	十勝大会 令和5年 8月31日 9月1日
令和6年度 <2年次>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 各域内の学校の実践事例の収集及び分析</li> <li>○ 「実践事例バンク」の運営、普及・還元</li> <li>○ リーフレットの作成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ ICTを活用した各教育研究所・研修センターの教育実践の共有</li> <li>○ 複数の加盟機関が連携した研修や授業研究の計画・実施</li> </ul>		網走大会 令和6年 8月29日 30日
令和7年度 <3年次>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「個別最適な学び」と「協働的な学び」の充実にに向けた「実践事例バンク」の普及・還元</li> <li>○ リーフレットの配付</li> <li>○ 研究成果の普及・還元 ・指導資料（冊子等）のWebページ上での公開</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ ICTを活用した各教育研究所・研修センターの教育実践の普及・還元</li> <li>○ 複数の加盟機関が連携した研修や授業研究の実施</li> <li>○ 加盟機関の連携・協働体制の評価・改善</li> </ul>		胆振大会 令和7年 月 日 日 （未定）